

佐倉福音キリスト教会

サクサク通信

2015年5月号(第5号)



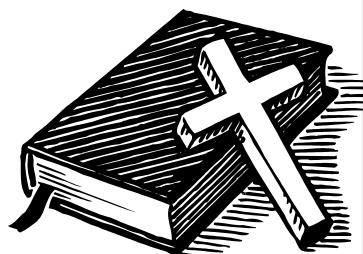
牧師：大高 伊作

電話：043-461-2983

住所：佐倉市白井田 774-83

mail: isaku.sakura.church@gmail.com

HP : <http://sakura-fukuin.com>



今月の聖書のことば

神である主は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」【創世記 2 章 16～17 節】

「友達」が出来る時は、特に契約を交わすこともなく、不思議な形で出来ます。もし一方がナイフを突きつけ、「友達になってくれなければ・・・」と言って友達になっても、それは虚しい関係です。相手の意志が尊重されていませんし、相手に自由がないからです。相手に選択の自由がなければ、本当の友情は望めません。

神と人の関係も同様です。もし、神が人間をロボットのように造り、神の意志に従わせていたとしても、その関係には何の価値もありません。それは、人間に自由がないからです。しかし、神は、人をロボットのように造りませんでした。自由な意志を与えられたのです。上記の聖書の言葉から、そのことが分かります。

神は、人に「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい」と言われました。「思いのまま」です。神が創造された世界は「見よ。それは非常に良かった」と言われる世界です。そこにあるものを「思いのまま」食べて良いと言われたのです。何という幸いでしょう！

しかし、同時に神は一つの命令を与えました。それは、「しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」というものでした。この命令の中に、人間に与えられた選択の自由があります。神は、人をロボットのように造らず、選択の自由を与えられました。神の命令を守り、神を愛する自由。または、神の命令

に反し、神を愛さない自由です。神は、人間に対して、積極的に神を愛し、神の命令を守ることを求められました。ここに、人間の尊厳があり、神が人間を尊重する姿があります。神が人間に求めておられるのは、積極的な応答です。この神の命令に対して、人間がどのような応答をしたのかについては、次回取り上げます。

ところで、「善悪の知識の木」とは何でしょう。少々不思議な名前の木です。ここでまず注意しておくべきことは、この「善悪の知識の木」に何か不思議な力があり、その実に人を殺したり善悪の知識を与えたりする効力はない、ということです。「善悪」は、神が判断することです。人は、神から善悪の知識を得るのです。この命令の中でも、食べて良い物（園のどの木からでも）と食べてはいけない物（善悪の知識の木）は、神が定めています。善悪は神がお決めになるのです。ですから、もし神が食べてはならないと言われた「善悪の知識の木」から取って食

べるなら、自分の考えや周囲の判断に基づいて、神に依存することなく、神のお考えを求めることなく、人間が自分で善悪を判断するようになるということです。そして、もし人間が自分の判断に基づいて行動しようとするならば、当然、完璧ではない人間が下す判断ですから、自滅してしまいます。ですから、私たちは聖書に記されている全世界の創造主であられる神に頼り、神のお考えを選び取っていききたいものです。そこにこそ私たちの人生の祝福があります。

◆コラム

先日、親しらずを抜きました。4針縫い、痛みと不自由さに苦勞しました。歯を一本抜いただけなのですが、しばらく元気がなくなっていました。治療後数回の食事は、ゼリー飲料で、普段の食事のありがたさを覚えました。

ところで、聖書の中で「教会」は、「人間のからだ」に喩えられます。聖書には次のような言葉があります。「もし一つの部分が苦しめば、すべての部分がともに苦しみ、もし一つの部分が尊ばれれば、すべての部分がともに喜ぶのです。」（Iコリント 12:26）

人間の体の中で、歯が一本抜けただけでも体全体に影響するように、教会でも、誰かが悲しんだり、苦しんだりすると、教会全体でその悲しみを共にします。「教会」を人間のからだに喩えたことは本当に見事です。

ただ抜歯をしただけですが、そのようなことを考えました。

～集会案内～

○日曜日：聖日礼拝 10:30～11:45
教会学校 9:00～10:00

○水曜日：聖書研究祈禱会 10:30～12:00
19:30～21:00

聖書に関する疑問等ございましたら、遠慮なくご連絡ください。また、当教会は、エホバの証人やモルモン教、統一教会等とは一切関係のない、プロテスタントキリスト教会です。